

道立病院における平成27年度上半期の医療事故等の発生状況について

道立病院では、病院運営の透明性を高め、道民の医療に対する信頼を深めるとともに、職員の意識を高め、医療における安全管理体制の向上を図ることを目的として、平成18年3月に「道立病院における医療事故等の公表基準」を定め、年2回、半期毎に発生状況を公表しており、今回、平成27年度上半期を取りまとめた。

1 医療事故の発生状況について

(1) 医療事故の定義

疾病そのものではなく、医療に関わる場所で、医療の全過程において発生する人身事故一切で、医療行為や管理上の過失の有無を問わない。

(2) 医療事故の区分及び発生状況

区分	件数等 (H27上半期)	主な事例	過去の状況(上半期)	
			H26	H25
1 確認のための検査や簡単な処置・治療を要した事例	137件 (87.8%)	○ 車椅子に胃管チューブが引っかかり抜去。 ○ 夜間トイレに行こうとし、転倒して頭部を打撲。	168件	131件
2 処置や治療を要した事例	17件 (10.9%)	○ 落ちた物を拾うため、右胸部をベッド柵に乗せ骨折。 ○ 落ちた物を拾うためベッドから転落し、右胸部骨折。	10件	12件
3 濃厚な処置や治療を要した事例	2件 (1.3%)	○ 病室で転倒し、下顎骨骨折、外耳道損傷、後頭部裂傷。 ○ レクリエーション中、予期せぬ動作をとって転倒し、大腿骨骨折。	8件	2件
4 永続的な障害や後遺症が残った事例	0件	—	1件	0件
5 死亡した事例	0件	—	2件	2件
合計	156件	—	189件	147件

(3) 公表区分別内訳

公表区分	対象	件数	公表時期	摘要
一括公表	・上記1 ・上記2～4のうち医療過誤無し	156件	半期毎	・件数のみ公表
概要公表	・上記2、3のうち医療過誤有り	0件	半期毎	・事例ごとに概要を公表
個別公表	・上記4のうち医療過誤有り ・上記5	0件	原則随時	・患者及び家族の同意を得て公表

※ 医療過誤とは、医療事故のうち、医療の遂行過程において、医療従事者の故意又は過失があり、患者に被害が発生し、且つ故意・過失と被害との間に因果関係があると認められるもの。

2 インシデントの発生状況について

(1) インシデントの定義

日常診療の現場において、患者に被害が発生することはなかったが、“ヒヤリ”としたり、“ハッ”とした事例を言う。

(2) インシデントの区分及び発生状況

区分	件数等 (H27上半期)	過去の状況(上半期)	
		H26	H25
1 前もって気づいた事例(薬の取り違えなど)	520件 (35.7%)	440件	468件
2 検査や処置を要しなかった事例(転倒など)	935件 (64.3%)	1,047件	1,135件
合計	1,455件 (100.0%)	1,487件	1,603件